

「フェアトレードでまちづくり」

みなさんは普段、どんなものを買いますか。

私たち消費者は、日々、買い物をして食べものや暮らしに必要なもの、サービスを手に入れています。

最近、「エシカル消費」という言葉をよく見かけます。

毎日の私たちの消費が、世界の未来を変えるとしたら？

エシカルな消費とは、どんなものを選び、どんなものを買うことなのでしょうか。

今回は、フェアトレードを通じてまちづくりを行っている

市民団体「いなべフェアトレードタウン」の活動を紹介します。



▲いなべ市役所の食堂で飲めるフェアトレードのコーヒー



▲フェアトレードの食材を使用した地域コラボ商品

「エシカル消費」でどんなことが応援できるでしょうか。

具体例の一部を見てみましょう。



※認証機関は他にも多数あり、これらはその一例です。
生物多様性民間参加ガイドライン 第2版 (平成29年12月8日 環境省公表) http://www.env.go.jp/nature/biodic/gi_participation/download.html

出典：消費者庁リーフレット「エシカル消費ってなあに？」

「エシカル消費」とは？

※エシカル (ethical) = 倫理的な・道徳的な

エシカル消費*とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。私たち一人一人が、社会的課題に気づき、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分で何ができるのか考えてみることに、これが、エシカル消費の第一歩です。私たちが商品・サービスを選択する際に、「安心・安全」、「品質」、「価格」だけでなく「エシカル消費」という基準も大切です。

引用：消費者庁パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) の
12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的な社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

引用：消費者庁 エシカル消費特設サイト

<https://www.ethical.caa.go.jp/>

もっと知りたい人はこちら！

いなべ FAIR TRADE TOWN が考える エシカル消費とは

「いなべフェアトレードタウン」は、2018年からフェアトレード推進活動を行っている市民団体です。

2020年度のいなべ市内のフェアトレードタウンマップの作成、専用エコバッグを使ったスタンプラリーイベント(協力店舗にて商品購入ごとにスタンプが押せる)は、いなべを知っていただける一つのきっかけであり、さらにはエシカル消費を促すことにつながると考えております。普段の買い物も「いつ、どこで、だれが、どうやって」作られたのか気にしてみると、新たな地域の魅力や面白い発見があるかもしれません。

私たちは、フェアトレード商品や地産地消を通じて商店街の方々とコミュニケーションをとりながら地域活性化の一助となるべく活動しています



【お話を伺った人】



「いなべフェアトレードタウン」

はば のりこ
代表 羽場 典子さん



「いなべフェアトレードタウン」の会員は現在4名です。それぞれが得意なことをいかして活動を行っています。

市民団体「いなべフェアトレードタウン」
問い合わせ先▶ inabefairtradetown@gmail.com
WEB▶ <https://inabefairtradetown.wordpress.com/>
Facebook▶ <https://www.facebook.com/323747868230550/>



WEBサイトから、活動の情報などをご覧いただけます。